

マスミューチュアル生命
2008年度第3四半期業績のお知らせ

マスミューチュアル生命保険株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:平野秀三)の2008年度第3四半期の業績につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

※資料中、「第3四半期累計期間」は「4月1日～12月31日」を、「第3四半期会計期間」は「10月1日～12月31日」を表しております。

2008年度第3四半期業績

1. 主要業績	1 頁
2. 資産運用の実績(一般勘定)	3 頁
3. (要約)四半期貸借対照表	5 頁
4. (要約)四半期損益計算書	6 頁
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	9 頁
6. 特別勘定の状況	10 頁
【参考】証券化商品等への投資状況	11 頁

マスミューチュアル生命について

マスミューチュアル生命は、米国総合金融グループ「マスミューチュアル・フィナンシャル・グループ」の一員です。強固な財務基盤を誇る同グループの豊富な経験とノウハウを背景に、新しい時代の流れを的確に捉えた商品・サービスをご提供してまいります。

<格付けについて>

当社はスタンダード&プアーズ社(S&P)から保険財務力格付けにおいて「AA」の評価を得ています。

AA

※上記の格付けは2009年2月12日現在の評価であり、将来的に変更される可能性があります。また、格付けは格付会社の意見であり、保険金支払などについて格付会社が保証を行うものではありません。

マスマチュアル・フィナンシャル・グループについて

「マスマチュアル・フィナンシャル・グループ」は、5,054 億ドル(約 57 兆 6,900 億円*)を超える運用資産を有する、国際的、多角的、成長指向型の金融サービス組織です。グループの各企業は生命保険、年金、所得補償保険、長期介護保険、退職プランニング商品、信託業務、資金運用、その他金融商品・サービスを提供しています。

グループの中核となる生命保険会社マサチューセッツ・ミュチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーは主要格付会社よりそれぞれトップレベルの格付けを付与されており、極めて強固な財務基盤を有する生命保険会社です。

(スタンダード&プアーズ:「AAA」、フィッチ:「AAA」、A.M.ベスト:「A++」、ムーディーズ:「Aa1」)

「マスマチュアル・フィナンシャル・グループ」は、マサチューセッツ・ミュチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーおよびその関係会社を指すマーケティング・ネームです。関係会社には、オープンハイマー・ファンズ・インク、バブソン・キャピタル・マネジメント・LLC、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド、コーナーストーン・リアルエステート・アドバイザーズ・LLC、MML・インヴェスターズ・サービシーズ・インク、ザ・マスマチュアル・トラスト・カンパニー・FSB、MML・ベイ・ステート・ライフ・インシュアランス・カンパニー、C.M.・ライフ・インシュアランス・カンパニー、マスマチュアル・インターナショナル・LLC が含まれます。

マスマチュアル・フィナンシャル・グループの URL: <http://www.massmutual.com>

*2007 年 12 月末現在、1ドル=114.15 円で換算

※上記の格付けは 2009 年 2 月 12 日現在の評価であり、将来的に変更される可能性があります。

1. 主要業績

(1)保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位:千件、億円)

区 分	2008年度第3四半期会計期間末		2007年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個 人 保 険	235	18,798	248	19,434
個 人 年 金 保 険	90	5,899	85	5,281
団 体 保 険	-	0	-	0
団 体 年 金 保 険	-	21	-	21

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資(ただし、個人変額年金保険については保険料積立金)と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位:千件、億円)

区 分	2008年度第3四半期累計期間			
	件 数	金 額		
		新契約	転換による純増加	
個 人 保 険	9	948	975	△ 27
個 人 年 金 保 険	7	978	983	△ 5
団 体 保 険	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-

- (注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資(ただし、個人変額年金保険については基本給付金(一時払保険料相当額))です。

(2)年換算保険料

・保有契約

(単位:億円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末	2007年度末
個 人 保 険	774	764
個 人 年 金 保 険	940	958
合 計	1,714	1,722
うち医療保障・ 生前給付保障等	78	74

・新契約

(単位:億円)

区 分	2008年度 第3四半期累計期間
個 人 保 険	74
個 人 年 金 保 険	607
合 計	681
うち医療保障・ 生前給付保障等	11

(注)1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

3. 新契約の年換算保険料において、転換契約については転換純増に係る年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績(一般勘定)

(1) 資産の構成

(単位:百万円、%)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末		2007年度末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	21,964	2.2	18,694	2.0
買現先勘定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買入金銭債権	219,704	21.6	213,130	23.2
商品有価証券	-	-	-	-
金銭の信託	-	-	-	-
有価証券	703,011	69.0	595,839	64.9
公社債	465,345	45.7	379,004	41.3
株式	296	0.0	3,089	0.3
外国証券	230,874	22.7	206,811	22.5
公社債	115,251	11.3	91,119	9.9
株式等	115,622	11.3	115,691	12.6
その他の証券	6,495	0.6	6,935	0.8
貸付金	22,468	2.2	24,442	2.7
不動産	3,746	0.4	4,107	0.4
繰延税金資産	4,468	0.4	6,142	0.7
その他	45,899	4.5	57,022	6.2
貸倒引当金	△ 2,295	△ 0.2	△ 1,365	△ 0.1
合計	1,018,968	100.0	918,014	100.0
うち外貨建資産	135,518	13.3	140,389	15.3

(注)「不動産」については土地・建物を合計した金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区 分	2008年度第3四半期会計期間末					2007年度末				
	帳簿価額	時 価	差損益			帳簿価額	時 価	差損益		
			うち差益	うち差損				うち差益	うち差損	
満期保有目的の債券	214,484	214,484	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	406,589	419,533	12,943	15,594	2,650	410,283	416,477	6,194	7,650	1,456
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	195,622	193,465	△ 2,157	5,595	7,752	291,439	291,673	234	4,867	4,633
公 社 債	124,290	128,768	4,478	5,134	656	76,870	77,452	581	946	365
株 式	—	—	—	—	—	2,998	2,753	△ 245	245	490
外 国 証 券	43,375	38,108	△ 5,267	299	5,567	85,351	85,341	△ 9	2,545	2,555
公 社 債	36,703	32,902	△ 3,801	299	4,101	73,166	74,283	1,117	2,545	1,428
株 式 等	6,672	5,206	△ 1,466	—	1,466	12,184	11,058	△ 1,126	—	1,126
その他の証券	4,735	3,943	△ 791	152	943	4,966	4,892	△ 74	438	513
買入金銭債権	23,221	22,644	△ 577	8	585	121,252	121,234	△ 17	691	709
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	816,697	827,483	10,785	21,189	10,403	701,723	708,151	6,428	12,518	6,090
公 社 債	460,867	476,140	15,273	17,034	1,761	378,422	382,312	3,889	5,303	1,413
株 式	—	—	—	—	—	2,998	2,753	△ 245	245	490
外 国 証 券	130,812	124,302	△ 6,510	493	7,004	102,187	101,946	△ 240	2,638	2,878
公 社 債	119,052	114,007	△ 5,044	493	5,538	90,002	90,888	886	2,638	1,752
株 式 等	11,760	10,294	△ 1,466	—	1,466	12,184	11,058	△ 1,126	—	1,126
その他の証券	4,735	3,943	△ 791	152	943	4,966	4,892	△ 74	438	513
買入金銭債権	220,281	223,097	2,815	3,509	693	213,148	216,247	3,099	3,893	793
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、CD(譲渡性預金)等、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものを含んでおります。

時価のない有価証券の帳簿価額は次のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末	2007年度末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
そ の 他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	101,857	101,857
その他の有価証券	6,899	5,455
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	296	335
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	—	—
そ の 他	6,603	5,120
合 計	108,757	107,313

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

3. (要約)四半期貸借対照表

(単位:百万円、%)

期 別 科 目	2008年度第3四半期会計期間末 (2008年12月31日現在)		2007年度要約貸借対照表 (2008年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)				
現金及び預貯金	13,245	1.3	13,772	1.5
一般預貯金	10,000	1.0	5,500	0.6
有価証券	219,704	21.1	213,130	22.7
うち国債	724,422	69.5	617,787	65.7
うち地方債	(198,918)	19.1	(134,280)	14.3
うち社債	(2,859)	0.3	(1,999)	0.2
うち株式	(263,567)	25.3	(242,724)	25.8
うち外国証券	(296)	0.0	(3,089)	0.3
貸付金	(230,874)	22.2	(206,811)	22.0
貸付金	22,468	2.2	24,442	2.6
保険約款貸付金	11,058	1.1	11,358	1.2
一般貸付金	11,409	1.1	13,084	1.4
有形固定資産	3,996	0.4	4,365	0.5
無形固定資産	1,026	0.1	1,024	0.1
再保険	328	0.0	238	0.0
その他資産	44,295	4.3	55,503	5.9
繰延税金資産	4,468	0.4	6,142	0.7
貸倒引当金	△ 2,295	△ 0.2	△ 1,365	△ 0.1
資産の部合計	1,041,661	100.0	940,540	100.0
(負債の部)				
保険契約準備金	958,112	92.0	873,349	92.9
支払準備金	5,957	0.6	6,054	0.6
責任準備金	949,228	91.1	863,927	91.9
契約者配当準備金	2,926	0.3	3,367	0.4
再保険借入金	586	0.1	718	0.1
その他負債	43,937	4.2	41,230	4.4
未払法人税等	16	0.0	22	0.0
その他負債	43,920	4.2	41,208	4.4
退職給付引当金	1,790	0.2	1,705	0.2
役員退職慰労引当金	181	0.0	170	0.0
特別法上の準備金	2,479	0.2	2,255	0.2
価格変動準備金	2,479	0.2	2,255	0.2
負債の部合計	1,007,087	96.7	919,429	97.8
(純資産の部)				
資本剰余金	28,019	2.7	21,519	2.3
資本準備金	14,981	1.4	8,481	0.9
利益剰余金	14,981	1.4	8,481	0.9
利益準備金	△ 13,343	△ 1.3	△ 11,842	△ 1.3
その他利益剰余金	43	0.0	43	0.0
退職手当積立金	△ 13,386	△ 1.3	△ 11,885	△ 1.3
配当積立金	49	0.0	49	0.0
別途積立金	13	0.0	13	0.0
繰越利益剰余金	300	0.0	300	0.0
自己株式	△ 13,749	△ 1.3	△ 12,248	△ 1.3
株主資本合計	△ 5	△ 0.0	△ 5	△ 0.0
その他有価証券評価差額金	29,651	2.8	18,152	1.9
繰延ヘッジ損益	△ 2,401	△ 0.2	△ 42	△ 0.0
評価・換算差額等合計	7,323	0.7	3,001	0.3
純資産の部合計	4,922	0.5	2,958	0.3
純資産の部合計	34,573	3.3	21,111	2.2
負債及び純資産の部合計	1,041,661	100.0	940,540	100.0

4. (要約)四半期損益計算書

(単位:百万円、%)

期 別 科 目	2008年度第3四半期累計期間 〔2008年4月1日から 2008年12月31日まで〕	
	金 額	百分比
経 常 収 益	182,673	100.0
保 険 料 等 収 入	155,846	
(うち保険料)	(154,759)	
資 産 運 用 収 益	23,808	
(うち利息及び配当金等収入)	(15,540)	
(うち有価証券売却益)	(532)	
(うち金融派生商品収益)	(7,733)	
そ の 他 経 常 収 益	3,018	
(うち支払備金戻入額)	(97)	
経 常 費 用	183,861	100.7
保 険 金 等 支 払 金	71,041	
(うち保険金)	(10,293)	
(うち年金)	(12,732)	
(うち給付金)	(19,815)	
(うち解約返戻金)	(24,941)	
(うちその他返戻金)	(1,424)	
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	85,301	
責 任 準 備 金 繰 入 額	85,300	
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額	0	
資 産 運 用 費 用	13,360	
(うち支払利息)	(18)	
(うち有価証券売却損)	(1,220)	
(うち有価証券評価損)	(3,552)	
(うち特別勘定資産運用損)	(4,908)	
事 業 費	12,749	
そ の 他 経 常 費 用	1,408	
経 常 損 失	1,188	△ 0.7
特 別 利 益	497	0.3
固 定 資 産 等 処 分 益	497	
特 別 損 失	234	0.1
固 定 資 産 等 処 分 損	9	
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	224	
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	0	0.0
税 引 前 四 半 期 純 損 失	925	△ 0.5
法 人 税 及 び 住 民 税	16	0.0
法 人 税 等 調 整 額	558	0.3
四 半 期 純 損 失	1,501	△ 0.8

1. 有価証券(現金及び預貯金・買入金銭債権のうち有価証券に準じるものを含む)の評価は、売買目的有価証券については時価法(売却原価の算定は移動平均法)、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法(定額法)、「保険業における「責任準備金対応債券」に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第 21 号)に基づく責任準備金対応債券については移動平均法による償却原価法(定額法)、子会社出資金(保険業法第 2 条第 12 項に規定する子会社及び保険業法施行令第 2 条の 3 第 2 項に規定する子法人等のうち子会社を除いたもの及び関連法人等が発行する株式をいう)については原価法、その他有価証券のうち時価のあるものについては 12 月末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価の算定は移動平均法)、時価のないものについては取得差額が金利調整差額と認められる公社債(外国債券を含む)については移動平均法による償却原価法(定額法)、それ以外の有価証券については移動平均法による原価法によっております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

(追加情報)

その他有価証券のうち時価のあるもので、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第 25 号)の取扱いを適用したものがあります。

その他有価証券として保有していた有価証券及び買入金銭債権のうち、「債券の保有目的区分の変更に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第 26 号)の公表を受けて、昨今の市場環境を検討し稀な場合に該当するものについて、その他有価証券から満期保有目的の債券へ振替えたものがあります。

2. 「リース取引に関する会計基準」(平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準第 13 号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準適用指針第 16 号)に伴い、当期より同会計基準及び同指針を適用しております。

ただし、当第 3 四半期会計期間末においては、同会計基準及び同適用指針の適用対象である平成 20 年 4 月 1 日以降に取引が開始される新規ファイナンスリース取引が発生していない為、当該会計方針の変更による損益への影響はありません。

3. 「債券の保有目的区分の変更に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第 26 号)の公表に伴い、当第 3 四半期より同取扱いを適用しております。

4. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

前年度末現在高	3,367 百万円
当第 3 四半期累計期間契約者配当金支払額	441 百万円
利息による増加等	0 百万円
契約者配当準備金繰入額	0 百万円
当第 3 四半期会計期間末現在高	2,926 百万円

5. 担保に供されている資産の額は、有価証券 307 百万円であります。

6. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

(単位:千株)

	当四半期 会計期間末 株式数
発行済株式	
普通株式	163
合計	163
自己株式	
普通株式	0
合計	0

7. 株主資本の金額の著しい変動

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
前期末残高	21,519	8,481	△11,842	△5	18,152
当第3四半期会計期間 末までの変動額					
新株の発行	6,500	6,500			13,000
四半期純利益			△1,501		△1,501
当第3四半期会計期間 末までの変動額合計	6,500	6,500	△1,501	0	11,498
当第3四半期会計期間 末残高	28,019	14,981	△13,343	△5	29,651

8. 金額の記載単位未満は、切捨てて表示しております。

(平成20年度第3四半期累計期間損益計算書関係注記)

1. 1株当たり四半期純損失は11,164円83銭であります。

なお、算定上の基礎である四半期純損失は1,501百万円、普通株式の期中平均株式数は134千株であります。潜在株式調整後1株当たり四半期純損失については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位:百万円)

		2008年度 第3四半期累計期間
基礎利益	A	△ 1,179
キャピタル収益		8,710
金銭の信託運用益		-
売買目的有価証券運用益		-
有価証券売却益		532
金融派生商品収益		7,733
為替差益		-
その他キャピタル収益		444
キャピタル費用		7,411
金銭の信託運用損		-
売買目的有価証券運用損		-
有価証券売却損		1,220
有価証券評価損		3,552
金融派生商品費用		-
為替差損		2,214
その他キャピタル費用		424
キャピタル損益	B	1,298
キャピタル損益含み基礎利益	A+B	119
臨時収益		-
再保険収入		-
危険準備金戻入額		-
その他臨時収益		-
臨時費用		1,307
再保険料		-
危険準備金繰入額		376
個別貸倒引当金繰入額		931
特定海外債権引当勘定繰入額		-
貸付金償却		-
その他臨時費用		-
臨時損益	C	△ 1,307
経常利益(△損失)	A+B+C	△ 1,188

(参考)その他キャピタル収益・費用の内訳

		2008年度 第3四半期累計期間
その他キャピタル収益		444
責任準備金戻入額(外貨建商品の為替調整)		444
その他キャピタル費用		424
責任準備金繰入額(一時払年金商品の市場価格調整)		69
買入金銭債権評価損		354

6. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:百万円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末		2007年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険		1,463		-
個人変額年金保険		21,298		22,525
団体年金保険		-		-
特別勘定計		22,762		22,525

(2) 保有契約高

・個人変額保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末		2007年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険(有期型)	-	-	-	-
変額保険(終身型)	0	1,793	-	-
合 計	0	1,793	-	-

・個人変額年金保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末		2007年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	2	21,474	1	22,902
合 計	2	21,474	1	22,902

【参考】証券化商品等への投資状況

証券化商品等への投資状況

以下の項目は、金融安定化フォーラム(FSF)の報告書を踏まえ、2008年度第3四半期末の証券化商品等への投資状況について記載したものです。なお、当社はサブプライム関連商品への直接投資を行っていませんが、外部に運用委託しているファンド(当社運用関連子会社)を通じて間接的に保有しております。

1. 証券タイプ、格付別残高(時価ベース)及び損益の状況

(単位:百万円)

証券タイプ	2008年度第3四半期会計期間末							合計	占率	含み損益	実現損益
	AAA	AA	A	BBB	BB以下	その他					
①特別目的事業体(SPEs)一般	-	-	-	-	-	9,187	9,187	2.0%	0	-	
a) ABCP	-	-	-	-	-	9,187	9,187	2.0%	0	-	
b) SIV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
②債務担保債券(CDO)	-	-	-	-	-	269	269	0.1%	-	▲ 1,419	
a) ABS-CDO	-	-	-	-	-	77	77	0.0%	-	▲ 363	
b) CLO	-	-	-	-	-	191	191	0.0%	-	▲ 1,055	
c) CBO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
③商業用不動産担保証券(CMBS)	40,422	16,027	16,114	7,233	1,193	1,193	82,184	17.6%	▲ 741	▲ 666	
④レバレッジド・ファイナンス及び類似のリスクの高いローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
⑤その他	314,588	13,326	30,321	11,726	50	6,290	376,303	80.4%	2,626	▲ 13	
a) 住宅ローン債権担保証券(RMBS)	290,687	9,392	4,420	4,092	50	292	308,936	66.0%	3,952	-	
b) その他のABS	23,400	1,933	2,683	823	-	-	28,841	6.2%	▲ 210	-	
c) Call Option付債券	-	-	11,818	2,310	-	5,997	20,126	4.3%	▲ 521	-	
d) クレジット・デフォルト・スワップ(売建)	500	2,000	11,400	4,500	-	-	18,400	3.9%	▲ 593	▲ 13	
合計	355,010	29,353	46,436	18,959	1,243	16,940	467,944	100.0%	1,885	▲ 2,099	
占率	75.9%	6.3%	9.9%	4.1%	0.3%	3.6%	100.0%				
うちサブプライム関連投資	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※①特別目的事業体(SPEs)一般の a) ABCPのその他の9,187百万円は、全て短期格付a-1、p-1以上です。

※⑤その他のa) RMBSの308,936百万円のうち、149,041百万円は住宅金融支援機構債券です。

※⑤その他のc) Call Option付債券のその他の6,040百万円は、邦銀の海外関連会社に対する優先出資証券です。

※⑤その他のd) クレジット・デフォルト・スワップ(売建)は、想定元本です。

※裏付資産は、次のとおりです。ABCPは国内の売掛債権・入居保証金等、ABS-CDOは米国、CLOは欧州、商業用不動産担保証券は国内の不動産(オフィス、商業施設、賃貸住宅等)、住宅ローン債権担保証券は国内の住宅ローン、その他のABSは国内のオートローン等貸付債権・リース債権等、クレジット・デフォルト・スワップ(売建)の参照企業は国内の企業です。

※実現損益は2008年度期首から第3四半期末までの売却損益及び減損額です。

※格付は格付投資情報センター、日本格付研究所、ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズの長期格付を記載しています。

複数の格付がある場合は、最も低い格付で記載しています。

